

## 「楠田大蔵市長と語る会」(要点記録)

- 行政区 秋山
  
- 日時 平成 31 年 2 月 27 日 (木) 午後 7 時～午後 8 時 36 分
  
- 出席者 (市民) 34 人 (当該区 : 25 人 その他 : 9 人)  
(執行部) 12 人  
市長、副市長、教育長、総務部長、総務部理事、市民生活部長、  
健康福祉部長、都市整備部長、観光経済部長、教育部長、教育部  
理事、議会事務局長  
(事務局) 4 人  
経営企画課長、地域コミュニティ課長、広聴広報係長、広聴広報  
係員
  
- 会議内容
  - 1 開会のことば 午後 7 時～
  
  - 2 自治会長あいさつ 午後 7 時 5 分～
  
  - 3 市長あいさつ 午後 7 時 6 分～
  
  - 4 市からの説明 午後 7 時 29 分～
    - ・防災について
    - ・ごみ減量について
  
  - 5 意見交換 (別紙) 午後 7 時 41 分～
  
  - 6 閉会のことば ～午後 8 時 36 分

		質問・意見等	区に対する回答
質問者 1	意見 1	私は公民館で認知症予防の講座を開いている。この間市の介護予防講座に参加した際に認知症患者数について尋ねたが「把握していない」と回答があったが、認知症の現状についてよく調査してほしい。	<p>(市長)</p> <p>市でも職員対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、職員自身も積極的に受講したところです。</p> <p>(健康福祉部長)</p> <p>現在5人に1人が認知症になるといわれている状況であります。実際に市に何人患者がいるのかは把握しておりませんが、包括支援センターへの相談は年々増えております。包括支援センターや市内病院に相談員がいますので、ぜひ積極的に利用して頂きたいと思います。</p>
	意見 2	俳句短歌ポストがあるが、年間最優秀賞などを設け、もっとマスコミが食いつくような大きなものにしてほしい。	<p>(市長)</p> <p>俳句短歌ポスト事業につきましては、そういった具体的な検討には至っておりません。今後文化面の取り組みとしても、工夫をまいります。</p>
質問者 2	意見	西鉄五条駅前で商売をしている。佐賀銀行もマミーズも撤退し、マミーズ号も廃止になってしまい買い物難民が増えている。天満宮寄りのほうに市民は集中しているのだからこちらにスーパーが必要。 お客さんから「マミーズの跡地について何か知ってる？」と聞かれることが最近増えたので、この機会に聞いてみようかと思った。	<p>(市長)</p> <p>残念ながら後継店はまだ決まっておりません。マミーズが買収され、採算のとれない店舗は閉める、という経営方針となったため、このような事態となっております。そのうえで、マミーズ側の事情で退去されたので半年間、つまり4月までは家賃を支払っていただくことになっております。それまでの間に後継店が決まるように門戸も開いておりますし、呼び掛けも行っております。それでも決まらなければ、公募を行うなど、後継店決定のための努力を行わなければなりません。</p> <p>また、いきいき情報センター自体が老朽化していますし、他のスーパーマーケットもごぞいます。五条の地域自体の魅力を上げていかなければ、新たにスーパーが入ったとしてもマミーズの二の舞となる可能性もあり、まちにどんなプラスを与えられる</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>か、広い視点で考える必要があると思っています。</p> <p>マミーズ号につきましては、4月までにはマミーズ号に代わる新たなバスを運行できるように、進めてまいります。</p>
質問者3	意見	<p>施政方針の第2のプランにある、市内大学との連携について。太宰府市の人口規模からいうと、大学・短大に恵まれている。しかし実際は秋山周辺の2つの大学は学生の募集を停止している。</p> <p>大学があると若い人が集まり地域が活性化する。せっかく大学があるのに市との連携が今一つパツとしない。若い人が集まってくる状態が続いているうちに、彼らの定住・定着を図るべき。</p>	<p>(市長)</p> <p>大切なお指摘をありがとうございます。本市には最大で9校あった大学も今は5校に減っています。学生も、遊び場やアルバイト先を考えてか、どうも本市ではなく福岡市や近隣市から通っているきらいがあるようです。</p> <p>キャンパスネットワーク会議も定期的開催しておりますし、平成27年には大学との連携に関する協定を結びました。例えば、小中学生のサポートや留学生のサポート、社会人講座、空き教室の開放など、協議しながら努力を続けているところであります。</p> <p>撤退したあとの学校も、民間に貸し出したり再開するなどの選択肢もございます。</p>
質問者4	意見1	<p>秋山地区は特異性がある地域で、学生も含めた地区の半数の世帯がアパートに住んでいる。役員さんの努力で徐々に増えてはいるが、まだまだ地区の事業への参加が少ない。</p>	<p>(市長)</p> <p>地域行事への参加につきましては、各自治会どこも苦慮されているところだと思っております。市としても考えていかねばと思っております。</p>
	意見2	<p>公民館について。7月の豪雨の際に公民館を開放しろ、となったが、今の公民館はフローリングのため避難しても「どこに座ればいいのか？」という声があった。市の補助で和室の座談会室を作ってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>市では老朽化した公民館の建て替え補助を行っており、毎年かなりの金額になっています。そうした中で避難所としての在り方、地域のよりどころとしての在り方を考えなければならないところでございます。</p>
	意見3	<p>防災コミュニティ無線について、秋山地区ではまず何を言っているかわからない。アナウンサーのようにゆっくりはっきり言ってほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>特に大雨の時などはなかなか聞き取りにくいいため、危険が迫っている地域にこそ、声が届く仕組みを検討しております。</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>(総務部長)</p> <p>気象状況によっては無線が聞き取りにくいことがございます。発信の仕方を、女性の声なのか男性の声なのか、速度などを検討してまいりたいと思います。その他の情報伝達手段として、V-net や防災メールもるくんなどへのご登録をお願い致します。</p>
質問者 5	意見	<p>学園通りに住んでいるが、朝晩は車が多く、30km/h の規制があるがスピードを出す車が非常に多い。事故の危険性もあるため、生活道路として 30km/h の標示をきちりしてほしい。</p>	<p>(市長)</p> <p>切実な問題だと認識を新たにいたしました。</p> <p>他の地域でも速度制限が守られていないというお声をいただいております。標示の工夫のしようは様々ございます。改めて、警察との協議も含めて検討致します。</p> <p>(都市整備部長)</p> <p>安全・安心のまちづくりということで市長とも協議をしながら進めているところでございますが、規制につきましては、警察との協議が必要でありますし、何回か現地を確認して見張りとして立っていただくなどの方法は他の地域でも行っております。効き目のある方法が実行できるよう検討したいと思います。</p>
質問者 6	意見	<p>ふるさと納税に力をいれているということで 1 つ提案がある。個人タクシーを経営しており、お年寄りを乗せることがあるが、ふらふらして危ないと思った。郵便局で見守りサービスを行っているので、それを返礼品に加えることができないか。</p>	<p>(市長)</p> <p>ふるさと納税については力を入れているところでありまして、収入はこれまで非常に低くとどまっておりますが、今年度はやや増加の見込みであります。総務省の指摘も厳しくなっておりますが、ルールが適正になったあとこそチャンスがあると思っております、工夫してまいります。</p> <p>また、郵便局のほうから見守りサービスについての提案は伺っております、返礼品にノミネートできるように検討を重ねて</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>おります。ちなみに、民間の空き家見守りサービスにつきましてはすでにノミネートしておりますが、実績のほうは残念ながら今のところゼロですので、今後 PR のほうも行ってまいります。</p> <p>本市としてのネームバリューはございますが、本市らしいものをつくってこなかった努力不足もあったと私自身認識しております、「THE DAZAIFU プロジェクト」を立ち上げ本市ならではのものをノミネートしようと進めております。</p> <p>また、誤解を受けている部分もございまして、ふるさと納税を利用した筑陽学園高校野球部への応援寄付についてですが、15年前の甲子園出場の際には市から補助金をお出ししておりました。しかし、財政が厳しい中で甲子園出場ということだけで市のお金を使うことは難しく、応援したい方から寄附を募ってその分を純粋に応援に利用していただく、さらにふるさと納税自体の PR も兼ねた、ということでもあります。</p>
質問者 7	意見	子どもが中学生で現在不登校であるが、最近市でも不登校の児童・生徒は多いらしい。現状や対策などはどうなっているか伺いたい。	<p>(市長)</p> <p>全国的にも不登校の子どもが増えているということもあり、施政方針にも盛り込んでおります。</p> <p>(教育長)</p> <p>全国的にも増加していますし本市でも同様です。日数にもよりますし、不登校になりかけている子も含めると 100 人以上の子どもがいる状況でございます。</p> <p>「学校に行けなくてもここにおいで」というふうな形で教育支援センターなどで学習や体験活動を提供したり、学校への復帰の支援などを行っております。一方で、こういった場所に出てこられる子どもたちに</p>

		質問・意見等	区に対する回答
			<p>は目が届きますが、全く家から出られない子もいます。</p> <p>そこで、本市には大学もございますし、専門的な知識を持っている先生もいらっしゃいます。教育委員会だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、そういった専門知識を持った方々と連携しながら、とにかく一人でも減らす取り組みを、鋭意進めているような状況でございます。</p>
質問者 8	意見 1	<p><b>V-net</b> について。通古賀区在住であり、通古賀区で「<b>V-net</b> に全員登録しよう」ということになった。その際、県と市で違う情報発信サービスがあるが、市のほうが市長が独自に判断して早く情報を発信できるのだろうと思って <b>V-net</b> のほうを選んだ。そこのあたりはどうなっているのか。</p>	<p>(市長)</p> <p>県と市で判断が異なる場合がありますし、市独自の判断をむしろ優先すべきだと考えております。</p> <p>(総務部長)</p> <p>携帯電話やスマートフォンなどのメール配信分は県の「防災メールまもるくん」と同じ内容が「<b>V-net</b>」でも配信されます。気象情報も同様に同じ内容となっております。</p>
	意見 2	<p>ごみ問題について、昨年提言を行ったが届いているか。</p> <p>届いていないようなので今回改めて提言する。</p> <p>ごみの水分が多いということなので、体験モニターを集って家庭用ミキサーを使用してもらい、効果があればミキサーの購入費用の補助などを行うのはどうか。</p>	<p>(市長)</p> <p>副市長も開会の挨拶で言いましたが、今回の冒頭説明の中にも項目として入れているように、市としてもごみ問題については重要な問題だと認識しております。</p>